

高温障害



高温障害

ミニトマトの活動は気温が35~38℃、ピーマンは32~35℃が限界と言われています。もし、その活動限界温度より高い状態が長時間続くと成長の遅れや、受精不良（じゅせいふりょう）【花は咲くが、実がならない】を招くため、32℃以上にならないようにする必要があります。

対策

1. 株の上に日よけを設置したり、袋（培土）に段ボールなどで囲（かこ）いをつくり直射日光が当たらないようにしましょう。
2. 袋（培土）は、コンクリートなどの上に置いてしまうと、熱が直接に袋（培土）に伝わり高温になってしまうため、スノコやカゴなどを下に敷（し）いて風通しをよくしましょう。



	5月	6月	7月	8月	9月	10月
ピーマン		わき芽とり	追肥	誘引		
ミニトマト	定植支柱たて		追肥	整枝 追肥	追肥	収穫 追肥

	症状	対策
ハダニ	葉の表面に色の抜けたような斑点（はんてん）ができます。被害が大きくなると光合成ができなくなり、成長不良になったり、枯（か）れたりしてしまいます。	ホースの先をシャワーにして、葉の表面だけでなく裏面まで水をかけます。特に裏面に関しては、水圧をあげて葉についているダニを吹き飛ばしましょう。症状のひどい葉や実に関しては、とり除きましょう。水やりの際、葉の裏までしっかりチェックして、被害が大きくなる前に対策をしましょう。お酢が主成分の農薬を使うのも効果的です。
タバコガ	実に5ミリ程度の穴が開いている時は、タバコガと言う虫の幼虫が入り込んでいる可能性があります。	虫食いされた実は丸ごと取り除き、捨てましょう。被害が多い場合は、成虫が飛んできて卵を産みつけないよう防虫ネットをはりましょう。



タバコガの被害にあった実



お酢を主成分とした農薬を使用

すべての害虫などに効き目があるわけではありませんが、大きな予防効果があります。2~3日おきに散布（さんぷ）しましょう。

